

としよかん だより

2024. 2 NO.226

宍粟市立図書館

〒671-2576
宍粟市山崎町鹿沢81

TEL 62-4620 FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



「苦節10年 長水城落城小説発見」

五代光

戦国時代末期、長水城の戦いは、秀吉による播磨平定最後の合戦にもかかわらず、映画・ドラマや小説で取り上げられたことがない。

そこに光をあてたのが、『風奔る（はしる） 長水史伝・戦国播磨最後の闘い』、長水城落城をテーマにした初めての小説だ。

著者は、奈良県在住の元教員・春名久雄氏。長水城落城で滅亡した宇野氏の家臣・春名修理光俊の末裔と伝わる。長水軍記を解説した上、宍粟に足繁く通い、地元に残る逸話や伝承を拾い集め、小説化にこぎつけたようだ。執筆中の春名氏の姿は、先祖が乗り移ったような形相だったとか…。

平成26年、大河ドラマ「軍師官兵衛」のころ、長水城落城を描いた小説の存在？を知る。かつて、司馬遼太郎の『播磨灘物語』に、宍粟山崎が登場した時の感動が再び蘇るのではないかと心躍る日々…、

小説にたどり着けない日々…。後日談だが、この小説は、ごく限られた関係者に読んでもらおうという自己出版、見つかるはずもない！

こうした中、搜索開始から10年、地元有志の見事な探索力・交渉力が決め手となり、急転直下、著者・春名氏と接触。その結果、去年、複写本が市内4カ所の図書館・図書室に配架。そして、12月末には、春名氏を招いて、歴史文学講座も開催。

父と子の確執、家来の葛藤、官兵衛の調略、秀吉の侵攻…敗者から見た歴史として、ドラマの原作になったら面白いというメディア関係者の声も…。また、長水軍記の現代語訳（超訳）として、価値があるのではないかとという声も…。

揖保川を挟んで真正面に見える長水山、四百数十年前には、長水城も…。

小説化に執念を燃やした著者・春名久雄氏の思いもきつと届くに達しない。戦国時代にタイムスリップし、宍粟山崎に、思いを巡らせてみてはいかがでしょう！

こんな本あります 『罪深きシリア観光旅行』

桐島 滋 著（産業編集センター 2023年刊）

古代から文化や交通の要衝だったシリアには、多くの遺跡や歴史的建造物があります。かつては旅行先として人気がありましたが、2011年から続く内戦以降は簡単に観光ができる国ではなくなりました。外務省の海外安全情報でも、シリア全土に最も危険とされる退避勧告（レベル4）が出されています。しかし、近年シリアは観光客の受け入れを再開しており、シリア政府が手配したガイドの案内で、決められた場所を観光することができます。

中東やウクライナの戦争について発信しているフリーライターの著者は、2022年、この制度を利用して世界遺産を巡る10日間の旅行をしました。シリアはジャーナリストの入国を許可していないため、あくまでも観光旅行です。黒い玄武岩で造られた珍しいローマ劇場の遺跡や、古代にタイムスリップしたかのような

ダマスカスの旧市街。市場で所狭しと並べられたローカルフードに、美しい伝統的なホテルでの宿泊。このような素晴らしい観光のなかでも、著者の目を引くのはやはり内戦の陰です。爆撃の跡はそのまま放置され、「Z」の文字が書かれた装甲車とロシア兵など外国の部隊が至る所にいます。そして何より気になるのは、独裁国家のもとで人々はどのような暮らしをしているのかということです。

都市部は活気に溢れ「ここは本当に戦争をしているシリアなのか」と著者は驚きます。しかし、慢性的に電気もガソリンも不足しています。現地の人は不便な生活の不満は口にできても、政府への不満は決して口にはできません。著者はこの10日間の旅で、シリアを美しいと感じる一方で、抑圧され、八方塞がりのなかを生きる人々の息苦しさを強く感じました。旅行者という立場から、シリアで暮らす人々の日常を伝えるとともに、内戦についても簡潔にまとめてあり、戦闘が続く地域の現状を知ることができます。

子どもの本 57

「いちごばたけのちいさなおばあさん」
わたり むつこ さく
中谷 千代子 え（福音館書店）

いちごばたけの地下に、小さなおばあさんが住んでいました。おばあさんの仕事は、いちごに赤い色をつけることでした。ある年のこと、春はまだ来ないのに暖かくなり、雨が降り続きました。地面の上では、いちごが葉を広げていました。おばあさんはあわてていちごを赤くする準備をはじめました。地下の奥深くから水をくみ上げ、お日さまの光にあてました。次に、土の中の緑の石を掘り出しました。その石を細かくくわいて、水と混ぜるとぱっと赤い色ができます。階段を千回ものぼったり、おりたりして、とこやとこいちごを染め終わりました。ところが、次の朝、地面の上は一面、雪野原になっていました。雪に埋もれたいちごを動物たちが食べる結末に、深い満足感が味わえます。読んでもらえば、四歳から楽しめます。



開拓時代のアメリカでローラたち一家は、大草原の真ん中の払い下げ農地に移り住みました。干し草作りが終わり、冬支度を始めてきました。十月に猛吹雪がやってきて、家は厳しい冬を越せないと考え、ローラたちは小さな町で暮らすことにしました。ローラたちは学校に通い、町の暮らしに慣れてきました。ところが、吹雪が続く、家から出ることにさえ難しくなりました。食糧や燃料を運んでくる自動車も止まりました。ローラたちは、干し草を束にして棒状にしたものを薪のかわりに使いました。食べるものは減っていき、町全体が物資不足に悩まされてきました。音楽や詩を心の支えにし、工夫をこらして危機を乗り越える一家の物語です。十二歳くらいから大人まで楽しめます。



「長い冬」
ローラ・インガルス・ワイルダー 作
谷口 由美子 訳（岩波書店）

新着図書紹介

◆このリストは直近1か月に入った本の一部です◆

書名	著者	出版社	ジャンル
歳をとるのはこわいこと? 60歳、今までとは違うメモリのものさしを持つ	一田 憲子	文藝春秋	人生訓
138億年のものがたり 宇宙と地球でこれまでに起きたこと全史	クリストファー・ロイド	文藝春秋	世界史
道長ものがたり 「我が世の望月」とは何だったのか	山本 淳子	朝日新聞出版	伝記
副業おじさん 傷だらけの俺たちに明日はあるか	若月 滯子	朝日新聞出版	副業
子がいない人の終活・手続きあんしん帖	佐々木 悦子	池田書店	高齢者
自分で自分の介護をする本 ひとり暮らしでも大丈夫!	小山 朝子	河出書房新社	介護福祉
大学教授こそそそ日記	多井 学	三五館シンシャ	教員
イラストでわかる特性別発達障害の子にはこう見えている	—————	秀和システム	発達障害
江戸でバイトやってみた。古地図で歩く大江戸八百八町萬職業図鑑	櫻庭 由紀子	技術評論社	生業
〈標本〉の発見 科博コレクションから	国立科学博物館	国書刊行会	標本
便秘の8割はおしりで事件が起きている!	佐々木 みのり	日東書院本社	便秘
100年視力 よく見える目を長持ちさせよう	深作 秀春	サンマーク出版	眼科学
武士目線で語られる日本の城	小和田 泰経	日本能率協会マネジメントセンター	城
香りのチカラ 調香師が知っている、においと人の深いつながり	平野 奈緒美	笠間書院	香料
エプロンとワークウェア	小原 洋子・小原 彩	文化学園文化出版局	洋裁
サプリみたいに栄養がとれる副菜 101	牛尾 理恵	主婦と生活社	料理
発酵食大学の旨うまレシピ	発酵食大学	KADOKAWA	料理
子どもも親もラクになる偏食の教科書	山口 健太	青春出版社	育児
セカンドキャリア 引退競走馬をめぐる旅	片野 ゆか	集英社	競馬
狩猟者のためのハンドクラフト教書	『狩猟生活』編集部 編	山と溪谷社	皮革工芸
入門山頭火	町田 康	春陽堂書店	俳人
私の源氏物語ノート	荻原 規子	理論社	古典文学
父がしたこと	青山 文平	KADOKAWA	日本小説
ひとり旅日和(5) 幸来る!	秋川 滝美	KADOKAWA	日本小説
仕事のためには生きてない	安藤 祐介	KADOKAWA	日本小説
サイレントクライシス	五十嵐 貴久	PHP研究所	日本小説
ツミデミック	一穂 ミチ	光文社	日本小説
四重奏	逸木 裕	光文社	日本小説
変な家(2)	雨穴	飛鳥新社	日本小説
犬は知っている	大倉 崇裕	双葉社	日本小説
予幻 ボディガード・キリ(3)	大沢 在昌	徳間書店	日本小説
墓じまいラプソディ	垣谷 美雨	朝日新聞出版	日本小説
東京都同情塔 [芥川賞受賞作]	九段 理江	新潮社	日本小説
一夜 隠蔽捜査(10)	今野 敏	新潮社	日本小説
互換性の王子	栗井 脩介	水鈴社	日本小説
すべての神様の十月(3)	小路 幸也	PHP 研究所	日本小説
ジェンダー・クライム	天童 荒太	文藝春秋	日本小説
一線の湖	砥上 裕将	講談社	日本小説
ラストエンペラー	楡 周平	KADOKAWA	日本小説
香子(かおるこ)(1) 紫式部物語	帚木 蓬生	PHP研究所	日本小説
まぼろしを織る	ほしお さなえ	ポプラ社	日本小説
人間標本	湊 かなえ	KADOKAWA	日本小説
しあわせの輪 れんげ荘物語(8)	群 ようこ	角川春樹事務所	日本小説
風に立つ	柚月 裕子	中央公論新社	日本小説
夜明けを待つ	佐々 涼子	集英社インターナショナル	エッセイ
悪い男 エーレンデュル捜査官シリーズ(7)	アーナルデュル・イントリダソン	東京創元社	外国小説
いちばんの願い	トーン・テレヘン	新潮社	外国小説
呪いを解く者	フランシス・ハーディング	東京創元社	外国小説

◇ 読書講演会 ◇

『薬膳でカラダとココロを整える』



2月25日(日曜日)
10時30分から12時

<場所> 宍粟防災センター 5階

<講師> 阪口 珠未さん

株式会社漢方キッチン代表

<定員> 80名(要申込・先着順)

「薬食道源」食べ物がもつ薬効で心身の不調を改善する薬膳。

薬膳に関する本を多く書かれている阪口さんに薬膳の魅力や毎日の生活の中での取り入れ方をお話しいたします。参加申込は図書館まで。



↑
こちらからも申し込みできます

参加者には
薬膳茶を
プレゼント!



2月のえほんのじかん

いろいろなえほんをよみます。

3日(だい1どようび)

17日(だい3どようび)

2月のおはなしのじかん

むかしばなしなどをかたります。

10日(だい2どようび)

24日(だい4どようび)

10時30分からはじまります。

4さい以上の子どもがたいしょうです。
じかんにおくれないように来てください。



読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。
いつでも参加、見学できます。

日時	2月10日(土)[第2土曜日] 14時~15時30分	
作品	2月	『旅をする木』 星野 道夫 著
	3月	『雨あがる』 山本 周五郎 著



移動図書館車
ささゆり号
運行予定日

巡回場所	2月	3月	貸出時間
山崎町内	20日(火)	12日(火)	10時40分~14時
一宮町(学校・こども園)	2日(金)	1日(金)	9時30分~15時30分
一宮町内	17日(土)	16日(土)	10時~15時
波賀町(学校・幼稚園)	7日(水)	6日(水)	10時15分~16時
波賀町内	24日(土)	23日(土)	10時30分~15時
千種町内	21日(水)	13日(水)	11時~14時



巡回形式のため時間によって貸出場所は変わります。

場所・時間に変更になることがあります。詳しくはお問合せください。

しーたん通信でもお知らせしています。

※3月6日の波賀町は、学童と保育園に公用車で巡回します。



図書館カレンダー

2月

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

×休館: 月曜日・祝日・年末年始
(月曜日と祝日が重なるときは、翌火曜日も休館)

△閉館: 月末館内整理
特別整理期間

開館時間:

9時30分~17時30分

(金曜日のみ18時30分まで)